

セルフモニタリング報告書（令和7年度分）

令和 8 年 5 月 11 日

施設名：市民活動センター
指定管理者名：社会福祉法人苫小牧市社会福祉協議会
所管課名：健康福祉部 総合福祉課、総合政策部 協働男女平等参画室

モニタリング項目		指定管理者コメント		自己評価				
1 事業計画の達成度								
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。	適切に管理運営を行いました。	A	B	C	D	E		
施設利用者数の増加、利用率の上昇、利用者利便性の向上などの目標は達成されたか。	R7年10月よりWeb予約システムを導入したことでアイビープラザを利用していた利用団体などが活動センターを利用するなど新たな団体の利用が増えました。	A	B	C	D	E		
施設の設置目的にあった成果は上がっているか（目標値を設定していないその他の施設）。		－	－	－	－	－		
自主事業は計画どおり行われたか。	花壇づくり、若年層を対象とした絵画展、テレビでの健康体操やコピー・コーヒーサービス等は予定通り実施しました。	A	B	C	D	E		
地域、関係機関、ボランティア等との協働・連携に向けた取組が行われているか。	関係機関・団体と連携して花壇づくりやボランティアフェステバルなどを開催しました。	A	B	C	D	E		
2. 利用者の満足度								
利用者の満足が得られているか。	利用者のアンケート回答では一定の満足を得られました。	A	B	C	D	E		

利用者の意見・要望の把握は適切に行われているか。	アンケート・御意見箱・窓口での要望の把握に努めました。	A	B	C	D	E
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分行われたか。	利用者から要望として、市民ギャラリーのテーブルを新たに設置し、多目的ホールの放送設備についても、入替を行い改善を行いました。その他、経常費で対応可能なものは早急に改善しました。 その他、多目的ホールのブラインドは、4か所あるうちの2か所が故障中、ギャラリーのパネルについても、稼働する際に滑りが悪く、重くなっている。この2点については、利用者からも要望が出ておりますが、現状、未対応となっております。	A	B	C	D	E
3 管理運営の効率性						
経費の低減が図られているか。またその取組は十分か。	市状価格を把握し購入に努めたが、消耗品、修繕費、水道光熱費など物価高騰の影響は大きくなっています。	A	B	C	D	E
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。	競争入札により委託費を最小限に抑えるよう努めました。	A	B	C	D	E
収入増加のための取組はされているか。	文化会館、市民会館の閉鎖やR7年10月よりWeb予約システムを導入したことで他の施設を利用していた団体が活動センターを利用するようになり、新規の利用が増えました。その影響もあり、今年度は目標の収入金額となりました。	A	B	C	D	E
4 適正な管理運営						
職員の能力向上に向けた取組は行われたか（研修等）。	あいサポーター研修、認知症サポーター養成講座、消費生活サポーター養成研修など能力向上に向けた研修などに参加させました。	A	B	C	D	E
安全対策（事故防止等）は十分だったか。	高所作業などは2名体制で行うなど安全対策し、事故防止に努めました。	A	B	C	D	E
人員配置及び職員の管理体制は適正か。	利用者の利便性を優先し配置しました。	適			不適	

施設の平等な利用等について、適切に処理されているか（使用料の減免、還付含む。）。	条例により公平な利用の確保に努めるため、多目的ホール・市民ギャラリーの予約については、抽選を開催し、平等に利用できるようにしました。	適		不適		
利用者の個人情報等について適正に管理が行われていたか。	個人情報に係る書面は、施錠して管理をし、関わりのある課の机にも必ず施錠して管理を行いました。	適		不適		
収支の状況に不適切な点はないか。会計処理は適正か。	四半期ごとの監事監査等及び税理士の指導により法人会計を適切に管理しました。	適		不適		
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。	指定管理の保守点検業務仕様書のとおり、適切に務めました。	適		不適		
書類・備品等の管理は適正に行われているか。	書類については鍵付きの書庫にて管理し、使用に支障がある備品は都度、交換しました。	適		不適		
法令・協定書等を遵守し、適正管理が行われているか。	協定事項を遵守するとともに、法令の適正管理に向けて公益通報者保護規定を遵守しました。	適		不適		
5 地域貢献						
雇用・資材調達・再委託等、地域貢献に努めているか。	地元を優先し調達等行いました。	A	B	C	D	E

- A：目標、事業計画を上回る取組がされており、管理運営状況は極めて良好である。
- B：目標、事業計画どおり又はそれ以上の取組がされており、管理運営状況は良好である。
- C：概ね目標、事業計画どおり行われており、管理運営も適正で、特段問題は見られない。
- D：目標、事業計画において一部未達成があるなど計画内容を下回っており、又は管理運営において一部不適正な部分があるなど、改善が必要と認められる点がある。
- E：目標、事業計画の内容を大幅に下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

総合評価



【★の数が5～0の6段階評価で評価しています。】

〈 4 適正な管理運営において不適がある場合、その理由と今後の対応について 〉

指定管理者の自己評価（全体を通して）

事業計画の内容に沿って利用者の利便性が向上できるよう、夜間・休日の受付の対応やアンケート、設備の保守点検などを実施し管理運営を行いました。

男女平等参画推進センターにおいては、男女平等参画推進講座の一環として「ジェンダーの『はて？』を解き明かす」講座を全5回にわたり実施し、特に第5回目にはHTBアナウンサー森さやか氏を講師に迎え「ジェンダーギャップ解消はなぜ必要なのか」について講演頂き、多くの学びを得たと好評でした。その他のセンター事業においても、効果的な啓発になるように努めました。従来から行っている女性の起業を志す方などが自由に集い情報交換などをする月1回の「コワーキングDAY」と、参加者からの要望を踏まえてテーマを設定した学びの場である「コワーキング@プラス」を開催し、必要に応じては外部の相談機関につなぐなど、より有意義な時間となるように工夫をし、進化に努めました。

次に、登録サークルで構成するサークル協議会が会員数の減少や高齢化により解散しました。市内の公共施設が統合され建て替わるのに関係して、新たな活動場所として当センターの利用を希望される方の増加も見込まれるなかでの大きな変化ですが、今後も引き続き活動を希望される方々の支援をしていきたいと考えています。

市民活動センターにおいては、令和7年度の自主事業として、毎年、実施している花壇づくりは㈱百花園の協力のもと、苫小牧風花の会の会員の皆さまと一緒に行いました。来館者からも「色々な花が咲き、毎年きれいだね」と喜びのお声をいただきました。ロビーでの健康体操の上映については、椅子に座って体を動かし、待ち時間などに利用をしてもらっています。また、昨年度から始めた絵画展では、4日間で143名の方が来場し作品を見て頂きました。今回は出展者への感謝を記入するメッセージカードを用意し、作品一つ一つを見て頂きながら気に入った作品にメッセージをもらいました。メッセージは221枚集まり、各出展者へお渡しをしたところ「これ貰えるの、嬉しい」と喜びのお声をいただきました。

利用者については、令和7年度107,258人（前年度R6年度106,042人、前年比101.1％）と前年と比べ微増し、収入面では4,627,800円（4,409,245円、前年比104.9％）と前年と比べ増収となりました。コロナ禍後から利用者、収入ともに減少傾向でしたが、文化交流センターの閉館、市民会館の新設などの影響や昨年10月から導入したWeb予約が可能になったことで予約がスムーズとなり新規利用者が増えたことが要因ではないかと思えます。

また、「いつでも貸館」を通じてアイビープラザを利用する団体などが活動センターを利用するなど相乗効果が生じたことで収入の増収に繋がりました。増収対策に限度はありますが、収入を増やすために若年層への周知や市民ギャラリーの利用を増やすなどの取組を引き続き実施して参りたいと思います。

サービス面では、1階男性トイレの水栓を自動水栓に変更したことや昨年の10月から導入した「いつでも貸館」にてWeb予約が可能となったことで貸館の予約がスムーズになり、利用者の利便性が大きく向上しました。また、今まで市民からの要望が多くありましたエアコンについては、令和7年8月に苫小牧ガス様より寄贈いただき、2階研修室A、3階会議室1、講習室、4階音楽室、5階プレイルームの5か所の貸室に設置し、利用環境が改善されサービスの向上につながりました。

設備についても、照明器具の安定器故障に関して、随時、LED照明へ交換を行いました。また、市に働きかけていた西側ホワイエの雨漏りや受電設備の入替工事など修繕を行いました。市民の声から1階の西側正面入口に手摺を設置し、安全面の確保を行いました。今後に対応が可能な範囲で最大限の環境設備に努めたいと考えております。